



3月号カレンダー (3月20日～4月19日)	
3/20 金	補聴器相談(10:00～10:30)役場
21 土	町立診療所 2診 小児科
23 月	環境公害移動相談(10:00～12:00) 柏崎市役所 町立診療所 午後2診 外科
24 火	乳児相談(10ヶ月児)
25 水	町立診療所 午後2診 整形外科 健康づくり座談会(七日町・上栗)
26 木	機能訓練 ㉑ 補聴器相談(9:30～10:00)役場
27 金	補聴器相談(10:00～10:30)役場
28 土	役場閉庁日
30 月	町立診療所 午後2診 外科
4/1 水	春の火災予防運動(～7日) 交通事故移動相談(柏崎市役所) 町立診療所 午後2診 整形外科 健康づくり座談会(原小區・千谷沢・麓之島)
2 木	補聴器相談(9:30～10:00)役場
3 金	補聴器相談(10:00～10:30)役場
4 土	町立診療所 2診 小児科
6 月	春の全国交通安全運動(～15日) 町立診療所 午後2診 外科
8 水	町立診療所 午後2診 整形外科
9 木	月例健康相談日(おぐに医療センター) 補聴器相談(9:30～10:00)役場
10 金	補聴器相談(10:00～10:30)役場

心配ごと相談
 ☑毎週火曜日(午前10時～午後3時)
 ☑延命荘 ☎95-2027
 相談員 3/24 中橋 寛
 31 中沢誠三郎
 4/7 原 シズ
 14 山崎エイ子

健康相談
 ☑4月9日(木)(午後3時30分)
 (毎月第2木曜日)
 ☑医療センター ☎95-2600
 相談員 町立診療所長他
 (電話相談も結構です。)

日曜診療
 ☑成人健康センター
 法坂 ☎95-3141
 外来受付 9時～正午
 ※急患に限ります。

3/15 No.276
 平成4年3月15日発行 (毎月15日発行)
 発行 小国町役場 ☎949-152 新潟県刈羽郡小国町法坂七九三
 企画編集 総務課庶務係 ☎0258(95)3111 印刷 長岡あかつき印刷

新潟県小国町
広報 おぐに

雪まつり開催 2～4 P

「土地月間」について 6～7 P

1992年 No.276
3/15号



雪道を駆ける
 雪上エンデュロ大会(雪まつり)

—— 町の人口 平成4年2月29日現在 (前月比) ——
 計 8,338人 (-11人) 男 4,102人 (-1人) 女 4,236人 (-10人) 世帯数 2,185 (-1)
 平成4年2月の動き 出生 3人 死亡 9人 転入 6人 転出 11人

編集室

雪不足が心配されたおぐに雪まつりも大勢の方の参加で大成功のうちに終了しました。中でも雪上エンデュロ大会は悪コンディシ

ョンにもかかわらず、300人以上の大盛況。会場に響きわたる迫力あるエキゾースト音に観客は大喜びの様子。
 エキジビジョンレースでも清水国明さんが余裕のパフォーマンスで完走をしてみせる等終始盛り上がっていた。

少雪・豪雪と条件がそろわなく実現されなかった雪上エンデュロ大会。三年越しの実現に関係者も大喜び。来年も是非成功させたいと早くも意欲を見せていました。

雪と親しみ、雪と遊ぶ

第5回 おぐに雪まつり

3月1日、5回目を迎えた“おぐに雪まつり”が、町内各種団体で作る雪まつり実行委員会の主催で、相野原沖をメイン会場に開かれました。

当日はあいにくの雨模様。それでも大阪の高槻市をはじめ町外か

らも多数の方々の参加があり、約3000人が雪と親しむ各種イベントを楽しんでいました。

農環センターでは、タレントの清水國明さんの講演会等も行われユニークな体験談に会場もなごやかな雰囲気広がっていました。

そして、暗くなってからのジャンボどんどん焼と雪上花火でまつりもクライマックスとなり、雪に親しみ、雪と遊んだ今年の雪まつりは終わりました。

選手宣誓▶



スタート

雪上エンデューロ大会

時折大粒の雨が降る中、おぐに運動公園の特設会場では、まつりの目玉イベントの雪上エンデューロ大会が開かれました。

東京、仙台をはじめ各地から80名がエントリー。午前8時の受付前から続々と集り、中には前輪のタイヤを取りホイールだけのバイクなどもありました。

排気量別に4クラスに別けられレースは行われました。コース上況は霧と柔かい雪であいにくのコンディション、参加されたライダー達も考えていた以上の難しさに、慎重なアクセルワークを繰り返

返していました。

それでも TENT やパラソルがはられたピット脇からは「イケー」「ガンバレー」と大きな声援、拍手がおこっていました。

また、タレントの清水國明さんを迎え、エキジビションレースも行われましたが、さすがの国際A級ライダーも雪の上は勝手がちが

うようで転倒すること数回。走行後の感想を聞かれて「早く東京へ帰りたい。バイクは雪の上を走るものやない」と笑わせていました。

会場に集まった約300名の観衆も、清水さんの力走に大きな拍手を送っていました。

結果は次のとおりです。

▶Aクラス(50CC未満)＝①星名美信(十日町)②中村睦彦(柏崎)③中村研一(小国)▶Bクラス(125CC未満)＝①持田信一(柏崎)②川上裕幸(富山県)③安沢松雄・大川弘・高橋忠男(小国)▶Cクラス(125CC以上、80CCモトクロス)＝①風間良一(小千谷)②安沢松雄(小国)③大川弘・高橋忠男(小国)▶オープンクラス＝①小林晃(小千谷)②高野広栄(柏崎)③浦崎豊(富山県)



▲桑原玲子さん(十日町市)

オフロード歴約1年、スピード感、自然を味わえるからオフは楽しいと語る桑原さん。今日のレースの紅一点、「雪上はたいへん」といいながらも、見事8位で完走。ごころう様でした。



▲野沢大喜くん(新津市)

昨年の夏バイクを始めたという大喜君(8才)、二人のお兄さんとともに参戦し、ファイトある走りで一際大きな声援を集めていた。3人には特別賞として八石米(5kg)が贈られました。

人間バン馬レース

5人1組で150kgの重しをつけたソリを引きタイムを競いました。

130mのコースは雪のため足場が悪く、脚力はもちろんのこと、チームワークも大事な要素。

集落や仲間で作った19チームは2チームづつ走りましたが、スタート前には余裕のあった参加者も、思っていたよりもたいへんらしく、ゴール地点では「キツイ、キツイ」を連発していました。



▲さあいくぞ(右は高槻市から参加したチーム)

人間バン馬レース 結果

1位	桐 沢	1分19秒41
2位	消防戦隊ジェットマン	1分21秒20
3位	TEAMあすなろ	1分21秒37
4位	下村育成会	1分30秒90
5位	二本柳土曜会	1分31秒64



▲優勝した桐沢チーム チームワーク抜群でした

清水國明氏の講演会



ごぜ唄と昔話の会



こもり穴村

集落や育成会で、子供から大人まで力を合わせて、それぞれ工夫を凝らした14のこもり穴からなるこもり村ができました。

作り方は壁を積み上げたもの、雪を山に積み中をくりぬいたものに別れましたが、雪を高く積むために、コンパネや落し板を使うなど少雪のための苦勞が見られまし



た。作ったあとはなかで、自慢の手料理を食べ、ジュースや酒を飲みながら、いつまでも話がはずんでいました。

ジャンボどんどん焼



午後7時、かがり火が焚かれた会場に、ほら貝の音が響きわたり各集落の代表者等59名が松明を持って入場、およそ1000束のワラで作られたジャンボオの神に火がつけられると大きな歓声が沸き上りました。そして冬空に花火が打ち上げられるとまつりもフィナーレを迎えました。



相野原 観音堂 ご開帳

まつり会場に隣接した相野原の観音堂の馬頭観音が、雪まつりのためにご開帳されました。午前10時から午後3時まででしたが、多くの方が訪れ、観音様や毘沙門天、薬師如来のお姿を拝見しました。



雪まつり

モーターサイクルを楽しむ

雪の上で楽しむモーターサイクルスポーツを、味わってもらおうと用意した体験会場も大にぎわいでした。特にホバークラフト・スノーモービルの試乗は子供たちに大人気。長い列ができていました。(試乗者数 451人)

また若者を中心にスノーモービ

ル・四輪バギーへの関心も高く、多くの人が運転体験をしました。(体験者数 144人) スノーモービルを運転してみた人は、「おもしろかった。コーナリングもやさしく操作も簡単だった」と話していました。



▲体がふわっと浮く感じ
ホバークラフト



▲インストラクターの指導を受けて出発



▲コーナリングに注意して
四輪バギー

スマイル スナップ Smile Snap



▲ふるさとの味コーナー

▼こもり穴村



▲宝さがし

春の火災予防運動〈4月1日(水)~7日(火)〉

毎日が火の元警報発令中

春の火災予防運動が、4月1日(水)から7日(火)まで県下一斉に実施されます。

昨年、小国町での火災件数は、3件でしたが、過去の例を見ますと、4月に発生する割合が大変高くなっています。いずれの火災もちょっとした不注意からのものです。これから火災が発生しやすい気候となりますので、火の取り扱いには十分気をつけて、次のことを守りましょう。

「火の用心7つのポイント」

- 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 風の強いときは、その場をはなれない。
- 天ぶらを揚げるときは、その場をはなれない。
- 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ふろの空だきをしない。
- ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

また、万一に備えて、防火や避難方法を家族で話し合っておきましょう。

守ります山の緑と防火マナー

雪が溶け春たけなわとなりますと、ハイキング、ドライブなどの行楽や山菜採りで、山に入る機会が多くなります。

この時期は、空気が乾燥し、落葉や枯草が燃えやすくなっているうえ、強い風が吹くことが多く、例年山火事が多発しております。

行楽などで山に入るときは、山火事を防ぐため火の取り扱いには十分注意して、次のことを心掛けましょう。

- 枯れ草等のある危険な場所では、たき火等はしないこと。
- 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- たき火の場所をはなれるときは、完全に消火すること。
- たばこの吸いがらは必ず消すこと。
- 車からたばこの吸いがらを投げ捨てないこと。
- 火入れの許可は必ず受けること。

火事・救急 119
消防テレホンガイド0257-22-1200
柏崎消防署 小国分遣所 95-4184

春の全国交通安全運動〈4月6日(月)~15日(水)〉

防ごう子どもの交通事故

いよいよ春間近。雪がとけ、暖かくなってくると子ども達も外で遊ぶようになります。また、入園入学で行動範囲もグンと広がります。

こういったことからこの時期は子どもの交通事故の多発が心配されます。そこで、かわいい子どもたちを交通事故から守るために、もう一度、子どもの行動特性を考えてみましょう。

お母さん、お父さんへ

子どもは心身ともに未熟で、考え方や行動は大人とは大きく違ってきます。お母さんが子供に交通安全の基本的ルールを教える時は、普段子どもが利用する道で、具体的に何にどう気をつけなければならないかを手本に見せて教えるようにして下さい。子どもは「あぶないよ」「気をつけて」というような抽象的な言葉はなかなか理解できません。また、信号を無視して道路を横断したりする大人を見ると子どもはすぐにマネをします。そのことも考え、日頃から手本になるような行動をして下さい。



ドライバーのみなさんへ

子どもの交通事故原因で最も多いのは“飛び出し”で、次いで“車の直前・直後の横断”となっています。これは子ども行動特性に大きな理由があると言われています。ドライバーはまずそのことを理解しましょう。

- 子ども行動特性—
- ★1つのことに注意が向くと、周りのものが目に入らなくなり、近づいてきた車に気がつかないことがあります。ボールが道路へ転がってしまった時の飛び出しなどはその例です。
- ★物事を単純に理解してしまったりします。例えば、手を挙げれば車は必ず止ってくれるものと思込み、車の停止を確認しないまま道路を渡り出したりするのはそのためです。

4月は「土地月間」・・・土地取引の前に・・・

一定面積以上の取引については届出が必要です。

国土利用計画法のねらい

最近の土地問題にみられるように、土地の投機的取引や地価の高騰で、国土を混乱におとし入れるといった事態はおこしてはなりません。

国土利用計画法は、このために制定された法律です。この法律は土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発などを未然に防ぐため、土地取引について届出制を

設けています。次の一定面積以上の土地の取引をしようとするときは、この法律よりあらかじめ知事に届け出なければならないことになっています。

市街化区域 2,000㎡以上	市街化区域を除く都市計画区域 5,000㎡以上	都市計画区域以外の区域 10,000㎡以上
-------------------	----------------------------	--------------------------

なお、小国町全域について、都市計画区域以外の区域となります。

届出から契約まで

契約をしようとするときは、取引の当事者（売買の場合であれば売主と買主）は取引の予定価格や利用目的を記入した知事あての届出書を契約を結ぶ6週間前までに役場に届け出てください。

届出を受けた知事は、取引価格と利用目的について審査をし、不適当と認めるときは、取引の中止または変更を勧告することがあり

ます。それ以外の場合には届出日から6週間以内に勧告をしない旨文書で通知します。この通知を受け取れば契約ができることになります。

価格は公示価格や標準価格などと比較しながら高すぎるものではないかどうか検討します。土地の取引では、公示価格や標準価格を参考にして下さい。利用目的は用

途地域などの計画のほか、道路等の整備状況、周辺の自然環境の状況などから、不都合はないかどうかを検討します。勧告には、中止勧告のほか、利用目的や価格の変更勧告があります。変更勧告の場合には、これに従えば契約を結ぶこともできます。



届出が必要な土地取引

届け出なければならない土地取引は、次の要件のものです。

- ◎売買 ◎共有持分の譲渡
- ◎営業譲渡 ◎譲渡担保
- ◎代物弁済 ◎交換 ◎予約完結権・買戻権等の譲渡 ◎地上権・賃借権の設定、譲渡

これらの取引の予約でもある場合も事前に届け出が必要です。

一団の土地取引

個々の面積は小さくても、合計していくと一定面積以上になる一団の土地の取引はそれぞれについて届け出が必要です。

買いの一団の例

複数の地権者から開発業者が土地を取得する場合

売りの一団の例

宅地開発業者が住宅団地を分譲する場合

一団の土地として認定する要件としては、主体の同一性、物理的一体性、計画的な一貫性があります。時間的に間隔をあけたバラ買いや切り売りであっても当事者の業種、周辺の土地利用の状況等によっては計画的な一貫性を認定し得る場合があります。私道負担のある宅地を取引する場合は私道面積と宅地面積の合計面積で考えます。(公道に移管した場合は面積から除きます。)

届出をしないと

①法律で罰せられます。

届出をしないで土地取引をしたり、偽りの届出をすると6ヵ月以下の懲役または100万円以下の罰金が課せられることがあります。

②税法上の特典がうけられなくな

ることがあります。

届出をしないで土地を譲渡すると、特定住宅地造成事業等のために土地を譲渡した場合の譲渡所得の特別控除の適用が受けられなくなることがあります。また、届出

をしないで造成宅地などを譲渡すると、法人等の土地譲渡益重課の適用除外措置が受けられなくなります。



事前確認制度

宅地分譲や建売、マンション分譲などの場合に、分譲業者がその分譲予定価格について高すぎるものではないとの知事(市長)の確認をあらかじめ受けたものについて、定められた事前確認の有効期間内に売買などの取引を行う場合は、個々の取引ごとにあらためて届け出る必要はありません。

この制度による宅地分譲等の広告には、「国土利用計画法に基づ

く事前確認済」などと記載されていますので、購入者はこれを参考にできます。

事前確認の有効期間

事前確認の有効期間は都道府県等によって異なりますが、確認をうけてから、一般に12ヶ月、監視区域においては6ヶ月と定められています。

この制度により土地取引を行お

うとする場合には、有効期間内であるかどうか注意する必要があります。

事前確認の有効期間内に、土地取引が終了しそうなものについては、再確認又は有効期間の延長を申請してください。認められれば、再び、従前と同様、個々の土地取引ごとの届出は不要となります。

遊休土地制度

届出をして取得した一定面積以上の土地が2年たっても利用されていない場合には、知事は、その土地の有効かつ適切な利用を促進するため、その土地を「遊休土地」

に指定し、所有者等に通知することがあります。この通知を受けたときは、6週間以内にその土地の利用や処分の計画を知事に届け出なければなりません。この届出を

受けて、知事はその土地の積極的利用のために必要な助言や勧告をします。

☆なお、届出に必要な用紙は役場にあります。詳しいことは役場企画課へおたずね下さい。

ごみの分別収集特集

平成4年4月～ 5分別(可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶、空き瓶、粗大ごみ)

収集となります

特集2回目の今月は「**可燃ごみ**」についてお知らせします。

今までの分別収集(台所生ごみ、埋立ごみ、空き缶、粗大ごみ)ではそのままだに燃せるごみという台所生ごみだけです。そこで、昨年、夏に台

所生ごみのごみ質調査を専門検査機関に依頼して実施したところ、水分の大変多いことが判りました。焼却施設で効率よく燃えるごみ質の基準は下記のとおりであり、少しでもそれに近づけるようにしないと燃料を多く使い効率が悪くなることとなります。

(調査結果)

ごみ質		生ごみ
採取年月日(曜日)		3.7.30(火)
採取時間		10:45'
天候		曇
気温	℃	30.0
ごみの種類組成	紙・布類	2.9 %
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	9.8 %
	木・竹・藁類	0.4 %
	ちゅう芥類	76.8 %
	不燃物類	1.7 %
その他類	8.3 %	
単位容積重量		0.82 kg/ℓ
ごみの三成分	水分	84.2 %
	灰分	2.1 %
	可燃分	13.7 %
低位発熱量(計算値)		110 kcal/kg



(基準ごみ質)

(2) 組成

項目	ごみ質	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
水分(%)		72.0	63.0	53.0
可燃分(%)		23.0	31.0	42.0
灰分(%)		5.0	6.0	5.0
低位発熱量(kcal/kg)		750	1,250	1,900
見掛比重		0.30	0.25	0.20



従来の台所生ごみを→可燃ごみと変更し、可燃性のものをいっしょに収集します。

- 台所生ごみ……野菜くず、果物くず、魚肉くず、残飯、食用廃油
- プラスチック類……トレー、バック、ラップ、ソース、マヨネーズ醤油等の容器、スチロール皿等。
- 紙類……ちり紙、油紙、紙コップ、チラシ等
(資源ごみ……雑誌、新聞紙など廃品回収で集めるものは除く。)
- 布、皮革類……ボロ切、靴類、カバン類
- 木類……板くず、棒きれ、竹きれ、木の枝等
- その他……家庭の除草した草、紙オムツ、長靴など

出し方のポイント

- ①台所生ごみは水を良く切ってごみの袋の口をしっかり結んで出す
- ②食用廃油は紙、布類に含ませてから出す。(液体のままではダメ)
- ③プラスチック類は台所などより搬出される物に限る。
- ④雑誌、新聞類は保管しておいて廃品回収に出すように。
- ⑤木類は太さ5cm×50cm以下で、少量(20kg以下)の物に限る。
- ⑥除草した草は土を落し、よく乾かして出す。

協力をお願いします

もうひとしほりを!



くらしと税

税務署の処分に 不服があるとき

税務署長が行う更正や決定、財産の差押えなどの処分を受けたことにより、納税者の権利や利益が不当に損なわれることのないように、不服申立制度が設けられています。

不服申立ての手続には、税務署長に対する「異議申立て」と国税不服審判所長に対する「審査請求」とがあります。

〈異議申立〉

税務署長が行った処分に不服があるときは、その処分の通知を受

けた日の翌日から2か月以内に、税務署長に対して「異議申立て」をすることができます。

異議申立てがあり、担当者を替えて再調査をし、その結果を納税者に通知します。これを「異議申決定」といいます。

〈審査請求〉

この決定になお不服がある時には、その決定の通知を受けた日の翌月から1か月以内に、国税不服審判所長に対して「審査請求」をすることができます。

国税不服審判所は、国税局や税務署から独立した第三者的な立場で納税者の正当な権利や利益を救済する機関であり、納税者の不服を公正に審理解決するところです。国税不服審判所の所在地は次の

とおりです。

○関東信越国税不服審判所

新潟支所 新潟市営通2-692-5

電話 025-229-2151

国民健康保険税の納入期限は、

3月31日迄です!!

国民年金保険料や保育料などは4月6日が納期限となっていますが、国民健康保険税は3月31日が納期限となっています。

口座より振替を希望されている方は、3月31日に振替させていただきますので、あらかじめご承知ください。

また、直接役場に納付されている方も、3月31日迄に納付してください。

くらしと年金

4月から年金額3.3%引き上げ

平成4年4月からの保険料は月額9,700円に

国民年金の定額保険料は、今年4月から1ヶ月につき9,700円に、支給される年金額は3.3%の引き上げとなります。

国民年金制度は、高齢や障害などで働けなくなったときや、一家の働き手を失ったときなどに、年

金を支給して生活を保障することを目的としているため、年金の価値を社会情勢に応じた水準に保っていかなければなりません。

このようなことから、年金額の引き上げと共に、国民年金の財源となる保険料の引き上げも必要と

なります。国民年金制度を健全に運営していくための改定でありますので、国民年金加入者のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

年金額比較表

項目	年度	平成3年度		平成4年度	
	スライド率	3.1%		3.3%	
	年金額	年額	月額	年額	月額
〔国民年金〕					
老齢基礎年金		702,000	58,500	725,300	60,442
障害基礎年金(1級)		877,500	73,125	906,600	75,550
障害基礎年金(2級)		702,000	58,500	725,300	60,442
遺族基礎年金(子1人)		904,400	75,367	934,400	77,867
		(基本 702,000) (加算 202,400) (3人目以降) 67,500		(基本 725,300) (加算 209,100) (3人目以降) 69,700	
10年年金		426,500	35,542	440,700	36,725
5年年金		363,000	30,250	375,100	31,258
障害年金(1級)		877,500	73,125	906,600	75,550
障害年金(2級)		702,000	58,500	725,300	60,442
母子年金(子1人)		904,400	75,367	934,400	77,867
		(母子 702,000) (母子加算 202,400) (3人目以降) 67,500		(母子 725,300) (母子加算 209,100) (3人目以降) 69,700	
〔老齢福祉年金〕					
収入 600万円未満		359,200	29,933	371,100	30,925
収入 600万円以上 876万円未満		299,500	24,958	303,500	25,292



老齢福祉年金 受給者の皆さん

4月は、証書の回収月です。

4月13日(月)より、支給され

ますので、なるべく早めに

お受け取り下さい。

成人病予防

健康してますか？

食事の欧米化に伴う栄養の過剰摂取。運動不足による身体のせい弱体化。社会生活の複雑化がもたらす精神的緊張とストレスの増大…。

昔の人が想像もつかなかったような健康阻害因子に私たちは、取り囲まれて生活しています。

健康は豊かな人生には欠かせないものです。病気になったり、からだの不調が続くと健康の価値に気づきます。

便利な世の中になりました。健康だけは注文しても買えません。自らの意志で毎日、努力してつくり上げていくのが健康です。

成人病の予防、その主役は「あなた」

成人病の予防には、一次予防(病気を発病させるような生活習慣を改める)と二次予防(健診で病気の早期発見・早期治療)があり、あなたの日常生活の心がけと、定期的に健診を受けるという点で、その主役が「あなた自身」なのです。

また今後は、三次予防(病気の進展を抑える、リハビリなど)も重要になってきます。

●7つの健康習慣

- ①睡眠を充分とる
- ②朝食をとる
- ③間食を多くとらない
- ④標準体重を守る
- ⑤運動をする
- ⑥酒はほどほどに
- ⑦禁煙

守ってますか？

7つの健康習慣

人間は、あらゆる病気にかかる可能性があり、どんな病気でも死亡するか特定できないのが現状です。

しかし、幸いなことに、がんの一次予防のための好ましい健康習慣は、心臓病や高血圧などの予防方法と大きな違いはありません。

好ましい健康習慣を続けることは、がんや心臓病、脳卒中などの成人病による死亡を防いでくれます。

頭で食べて、成人病予防

成人病は、一名「食源病」ともいわれるように、食生活と深く関係しています。

栄養の正しい知識をもとにして、バランスよく、しかもおいしく、うるおいのある、考えた食生活をするという「頭で食べる」方法を身につけましょう。

6つの基礎食品を上手に組み合わせると一日30種類になるように工夫しましょう。

6つの食品群

① 肉・魚・大豆製品 主として良質たんぱく質の供給源	② 牛乳・乳製品・魚ごち食べられる魚 主としてカルシウムの供給源	③ 緑黄色野菜 主としてカロチンの供給源
④ その他の野菜、果物 主としてビタミンCとミネラルの供給源	⑤ 米・パン・めん類・いも 主として糖質とエネルギーの供給源	⑥ 油脂 主として脂肪性エネルギーの供給源

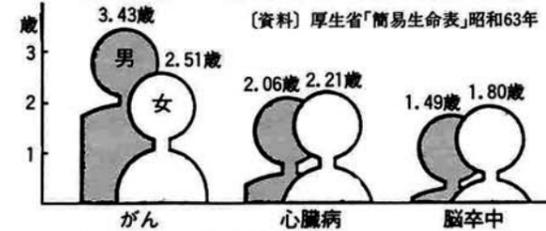
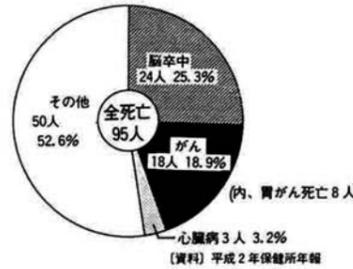
うけていますか？

健康診断

成人病とは、中年以降に発病することが多い高血圧や動脈硬化、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの疾患の総称です。これらの病気に共通する点は、いずれも慢性的に長い年月をかけて、徐々に進行することです。

成人病は、初期の段階——その病気の芽が出はじめる頃は、ほとんど自覚症状は現れません。この成人病の芽をいち早く見つけ、つみとってしまうために健診が必要となるのです。

◇小国町の全死亡の中の3大成人病の占める割合◇



3大成人病が克服されると寿命は延びる。がん、心臓病、脳卒中をなくすと、平均寿命が延びることになります。

40歳になったら健診は、積極的にうけよう！

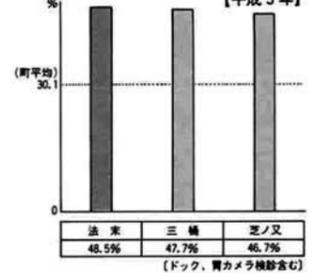
町では、毎年基本健康診査やがん検診を実施しています。

ここ2～3年の受診状況は、受診者数、率とも横ばい。ほとんどの受診者は、毎年受診している人たちで、初めて受診する人が少ないのが特徴です。

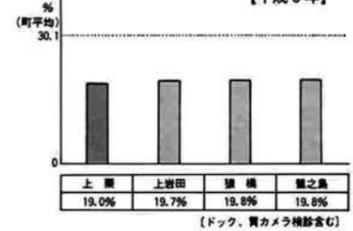
また各集落によっては、受診状況に大きな差があります。右のグラフは、昨年の胃がん検診受診率を表したのですが、法末地区と上栗地区では、29.5ポイントの差があります。

年に一度は健康チェック。住民検診を積極的にうけましょう。(検診申込みは、3月下旬を予定)

◇胃がん検診率 ベスト3◇

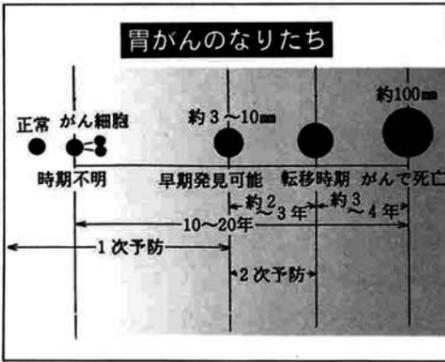


◇胃がん検診率 ワースト3◇



平成4年度小国町住民検診日程

- *胸部レントゲン検査
春：4月21日(火)～28日(火)
秋：10月15日(木)～16日(金)
※春には喀痰(肺がん)検査も同時に実施します。
- *胃がん・大腸がん検診
春：6月17日(水)～8月31日(月)
秋：10月13日(火)～27日(火)
※胃カメラ検診も実施予定。
- *子宮がん・乳がん検診
9月18日(金)～11月2日(月)
☆日時・会場等の詳細は、次号以降の広報等でお知らせします。
- *基本健康診査
5月25日(月)～6月1日(月)



解説1分！健康一生!! ③ 一食生活と成人病

食生活は健康づくりの基本。適正カロリーを維持し栄養のバランスをととのえて、3食きちんと食べていれば医者いらず。「医食同源」は現代に通じるキーワード。

- 昼間食べるより、夜食べるほうが太る！
あなたは1日の食事をどんな配分でとっていますか？
朝食抜き、昼軽く、夜ドカ食い。これでは自ら肥満を招いているようなものです。

夜、大食すると、活動が少ないため、エネルギーが消費されず、皮下脂肪として蓄えられてしまいます。食事はできるだけ朝と昼に重点を移して、一日の活動の間に消費してしまおう。これが、肥満防止の基本です。

- 年をとったら粗食で…。
これはとんだ誤解です！
動物性脂肪のとりすぎやごはんの食べすぎは、もちろん禁物



ですが、良質のたん白質(魚や肉、大豆製品など)やビタミン、

ミネラル、カルシウムなど、中高年者こそ副食の数を多くしてバランスのとれた食事をするのが大切です。

それが、脳卒中やボケ、骨粗しょう症などの予防につながり健やかな老後を約束します。

- 食パン1枚に含まれる塩分量は、0.8g！
一斤6枚切りの食パンを1枚食べると0.8g、2枚食べると1.6gの塩分量になります。
1.6gといえば、梅干し1個

分に相当する塩分量。これは小麦粉に水を加えてこねるとき、食塩を加えると小麦粉のたん白質がよりきめ細かくなって弾力性のあるパンができるためです。このように、知らず知らずのうちに塩分をとってしまう食品があります。

教訓一塩辛いもののみが塩分を含んでいるわけではない！

意外！こんなに塩分が含まれている

- ▶うどん・そばの汁/1人前/5g
- ▶シラス干し/小皿1杯分/2.4g
- ▶さつま揚げ/小3枚/2.5g
- ▶かまぼこ/1本/2.3g
- ▶プレスパン/薄切り3枚/1.7g
- ▶プロセスチーズ/4mm厚さ2枚/0.7g
- ▶ポテトチップス/100g/1.0g
- ▶トマトジュース/100g/0.6g



(資料) 朝日新聞「健康なるほどクイズ」他

頑張っています健康づくり！—三桶集落健康づくり会

三桶集落健康づくり会では、三友会（青年層）、実年会、婦人会や老人会などのグループを中心に、婦人や子供たちを対象にした料理教室、健康クイズ等を取り入れた運動会を開催。また各家庭の料理の塩分測定や実年会主催による先進地視察（岩船郡関川村）、健康管理についての金子先生の講

演会開催などいろいろな活動を通して、集落の健康づくり推進に頑張っています。

—三桶集落健康づくり推進標語—
☆ちょっと待て、食べ過ぎ、飲み過ぎ、働き過ぎ
☆幸せは、和から、愛から、健康から
☆健康は財産、塩分減らして財産増やそう

「愛の献血」にご協力ください

新潟県の献血者数は、昭和61年から5年連続減少傾向を続けています。今後このような輸血用の血液不足が続くと円滑な供給に支障をきたす憂うべき現状となっています。

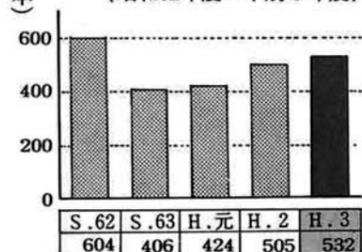
小国町では、昭和63年に減少した献血数（200ml換算値）が、みなさんのご協力で少しずつ増加しています。（下のグラフ）

平成4年度は、成分献血4回、全血（200ml、400ml献血）4回予定しています。（左表参照）献血車「ゆうあい号」を見かけたら、愛の献血にご協力ください。

■平成4年度献血日程■

①	5月20日	水	成分献血
②	6月15日	月	全血(200,400)
③	7月23日	木	成分献血
④	9月9日	水	〃
⑤	10月8日	木	成分・全血
⑥	11月11日	水	全血(200,400)
⑦	H5 3月17日	水	〃

■小国町の献血状況■【200ml換算】（昭和62年度～平成3年度）



検診アンケート

ご協力ありがとうございました。90%以上（3/4現在）の回収率でアンケートを回収できました。集計結果については、9月ごろ広報紙上で第1次報告を予定しています。

歯の用心—口メモ

子供の指しゃぶり

1歳6ヵ月児の歯科健診で、お母さん方からよく指しゃぶりについて質問を受けることがあります。指しゃぶりは歯ならびやかみ合わせに対して影響を及ぼす場合があります。ひどい場合には顎の変形を引き起こすとも言われています。

通常1、2歳児にみられる指しゃぶりは、生理的なものとして扱われ、歯科的な問題を引き起こす頻度は非常に低く、また指しゃぶりの中止で、歯ならびなどの問題も自然と消失する場合があります。3歳児でも歯ならびや顎にみられる異常がひどくない場合は、その原因をつきとめ、除去することが大切です。

指しゃぶりは、子供の欲求不満の解消のために行われることが多いようです。しかし原因がはっきりしない場合は、指しゃぶりがよくない理由をやさしく説明し、徐々にやめさせるようにしてください。就学直前または就学以降の子供で指しゃぶりを続ける場合は、口の中に装置を入れてやめさせる方法もあります。しかし、指しゃぶりを無理にやめさせると心理的な影響が現われて、それ以上の大きな問題を引き起こす場合がありますので注意が必要です。

新潟県歯科医師会

くらしと国保

現在お使いいただいている、国保の保険証の有効期限は3月31日までとなっております。

3月末日までに新しい保険証をお届けいたします。

今の保険証と引き換えになりますので準備しておいてください。

④・⑤の保険証について

④について、現在交付を受けている人には新しい保険証を交付いたします。

⑤について、新しい保険証は交

保険証が変わります

付いたしませんので、出稼先などで病院にかかられるときは、役場に申し出て新しい保険証の交付を受けてください。

今回の保険証の更新は、4月1日から保険証の番号が変わることによるものであり、新しい保険証の有効期限は、平成4年8月31日までとなります。



注：④とは、大学生など修学中の人に交付してある保険証のことです。

⑤とは出稼中の人などに交付してある保険証のことです。どちらも保険証に、④又は⑤の表示があります。

標準工賃 20,000円 (平成4.4.1～平成5.3.31)

商工会建築部会よりお知らせ
小国町商工会建築部会では標準工賃（建築職人手間）を協定しています。平成4年度については1日の工賃20,000円と決定しました。これは県、刈羽柏崎地区等と同額です。

建築に関することは何でもお気軽に、地元職人にご相談ください。



町内企業求人情報コーナー (3月分)

事業所名	所在地	職種	規模	求人数	年齢	就業時間	賃金
上越工業(株) ☎95-4111	桐沢	製造課員 技術者	56	男女3 男2	20~35	8:00~16:35	146,000~180,000 105,000~159,000
(株)ダンハイツ クローリング ☎95-4100	法坂	縫製要員 裁断要員 事務員	81	男女不問5 〃2 〃1	17~50	8:10~17:10	130,000~250,000 140,000~
東洋電子工業(株) ☎95-3131	原小屋	製造工	63	男女不問 10	18~45	8:00~17:00	120,000~150,000
ミユキドレス(有) ☎95-3301	相野原	縫製要員	45	女10	18~40	8:10~17:10	105,000~150,000
鳴島工業(株) ☎95-3122	七日町	NC機械操作 板金工 グラビア印刷	30	男女不問 10	18~60	8:00~17:00	120,000~200,000
長谷川建設(株) ☎95-3456	鷲之島	監督員 技術者 作業員	30	男女5 女2	18~55	8:00~17:00	124,000~220,000
(株)ナガイ小国工場 ☎95-3076	三桶	運転手	30	男2	18~55	8:00~17:00	160,000~
小林メリヤス工業(株) 小国工場 ☎95-2700	原小屋	セーター 製造スタッフ		男女3 女8	18~30 18~40	8:00~17:00	115,000~165,000 104,650~119,650
(有)新潟ダイカスト ☎95-3230	太郎丸	金型工 鑄造工 研磨工 検査工	28	男8	18~65	8:00~17:00	185,000~380,000
(有)共栄 ☎95-2349	上岩田	機械工 検査工 事務員	31	5 2 2	不問 45才位まで 〃	8:00~17:00	120,000~300,000
(株)旭産業 ☎95-3113	新町	組立工 生産管理	25	女8 男2	18~45	8:00~17:00	110,000~150,000 140,000~250,000

・このコーナーは職安通報済で掲載を希望された企業の情報です。
・掲載希望の企業の方は毎月末まで地域振興課商工労働係まで申込み下さい。
・柏崎、長岡、小千谷など近隣市町村の最新求人情報は役場1階ホールでごらん下さい。

3月～4月の 予防接種

☑日時 ☑会場 ☑対象者

- *三種混合
☑4月3日(金)午後2時～
☑おくに医療センター(検診棟)
☑I期第1回～II期対象児
- *ポリオ
☑4月7日(火)午後1時30分～
☑小国町就業改善センター
☑乳幼児(6ヵ月児～4歳児)
…経口投与第1回および第2回対象児
- *ツベルクリン
☑4月14日(火)午後2時～
☑小国中学校
☑中学1年生
- *ツ判定・BCG
☑4月16日(木)午後2時～
☑小国中学校
☑14日にツベルクリン注射を受けた人。反応が陰性(-)の場合にBCG接種。
※個人通知もします。

☑3月～4月の

乳幼児相談・健診 ☑日時 ☑会場 ☑対象者

- *乳児相談(10ヵ月児)
☑3月24日(火)午前9時30分～
☑おくに医療センター(検診棟)
☑平成3年4月、5月生まれ児
- *乳児健診
☑4月15日(水)午後1時20分～
☑おくに医療センター(検診棟)
☑平成3年9月、10月、11月、12月生まれ児



※個人通知もします。

中学生による 一日模擬議会を開催

2月18日、役場議場において中学生による一日模擬議会が開かれました。

この試みは、模擬議会を通じ議会制民主主義を学ぶとともに、質疑・答弁のなかから郷土への理解と愛着を深めることを目的に行われたものです。

参加した生徒は2年生全員と1年生の生徒会役員3人の合計93人です。このうち25人が議員となり、他の生徒は傍聴席で傍聴しました。

5人の議員が行った一般質問では「街灯の増設」や「バス路線増加」といった身近な問題から「農業活性化対策」や「スキー場開発」まで幅広く質問がありました。

これに対して町長からは、それぞれの質問に現状を説明しながら、現在の検討内容や将来の見通しを加えて答弁がありました。本会議後、議長さんより「私たちの議会に劣らない立派なもの」との講評があり、模擬議会は終わりました。



信号機が設置されました

交通量の増加に伴い町民の安全を守るために次の2地点に信号機が設置されました。ご協力をお願いいたします。



▲野田交差点



▲武石交差点

手作り弁当で冬期慰問

社会福祉協議会では、冬期慰問事業として、65歳以上の独居世帯や70歳以上の老人世帯の方に寒い冬を元気で頑張ってくださいと、給食ボランティアグループの手料理でお弁当を配りました。

給食ボランティアは昭和63年12月より開始し、現在58名の方が交代で毎週火曜日に調理し、配達ボランティア8名の方とともに、お年寄りへ弁当を届けています。

2月19・20日の2日間、農環センター調理室ではボランティアの方を対象に講習会が開かれ、刈羽農業改善普及所の国保普及員を講師に小梅の暮の内ごはん・鶏ささ身のみ揚げ・桜もちなどを学び、出来上がった190食が冬期慰問のお弁当として配られました。

ボランティアグループ代表の茂野ハナさんは「季節を考えて料理内容に工夫を凝らしたり苦労もありますが、お年寄りから大変よろこばれるので励みになります。」と話しておられました。



平成4年商業統計調査(一般飲食店)のポスター募集

商業統計調査は、昭和27年から実施され平成4年が第18回目になります。今回の調査は、全国約49万にのぼる商店(一般飲食店)を対象とする大規模調査であり、調査結果は国や各種民間団体、研究機関等で広く利用されています。

つきましては、以下の要領で広報用ポスターを募集しますので、ふるってご応募ください。

応募資格 特に制限はない

応募規格

- ・縦59cm×横42cm (A2判縦長)
- ・4色以内

・「通商産業省」商業統計調査(一般飲食店)「平成4年10月1日」の文字を必ず入れる

・標語・写真は使用しない

・裏面には、住所・氏名・職業(学生は学校名、学年)を必ず明記する

応募期間

平成4年4月20日まで

応募先

〒950新潟市新光町4番地1

新潟県企画調整部

統計課産業経済統計班

電話025(285)5511

内線2440~2444

小国短歌 (2月作品)

ある時は日記をつけぬかかる日を
平安の日と吾は呼びにき
田中 正衛

玉波の岩場しぶきに洗われて
釣る日とありて春の気配す
(玉波は荒川上流景勝地)
今井 昭一

減反と市場開放渦巻けば
霊峰米山泣いている、かも
片桐 直衛

曲げし指一本ごとに意味ありて
ことばなき子が意思伝えんとす
高橋 実

電話にて予約の注文受け取りて
冷えさる白衣しかと纏いぬ
山田 徹夫

お知らせ

平成3年度

野鳥スライド映写会

主催 新潟県愛鳥センター
紫雲寺さえずりの里

後援 新潟県野鳥愛護会

目的 野鳥スライド映写会を通して、野鳥に関する知識の高揚を図り、自然保護思想の普及啓発に努めることを目的とする。

期日 平成4年3月22日(日)
午後1時15分~4時

場所 愛鳥センター
レクチャールーム

日程

・受付 午後1時15分~1時30分
・野鳥スライド映写会

(スライド供覧者)

午後1時30分~4時

参加申し込み

1) 申込み締切日 3月18日(水)

2) 申込み方法 住所・氏名・年齢・電話番号を葉書か電話で申し込むこと

3) 申込み先 〒957-02 北蒲原郡紫雲寺町大字塚藤浜字海老池
新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

電話 0258-41-4500・4501

定員 先着100名

ステーキハウス 八石 オープン

ステーキハウス八石は4月1日より営業いたします。

豊かな自然に囲まれた中で、八石和牛のステーキや山菜料理などをたっぷりお召上がりください。多数の方のおいでをお待ちしています。

雪晴の外に遊ばず保母の笛
田中 重男(相野原)

癒え初めし夫の髪剃る四温晴れ
北原 テイ(太郎丸)

雪晴や笑ふと見えし仁玉の口
山口 清作(金沢)

魚焼く四温に猫の坐り込み
栗林 諸向(法坂)

折鶴に四温の息を吹き入る
米岡 とき(諏訪井)

第2・4土曜日を休診いたします

小国町立診療所では、今まで全ての土曜日を診療日としてまいりましたが、平成4年4月から毎月の第2土曜日と第4土曜日を休診させていただきますのでよろしくお願いいたします。

尚、毎月の第3日曜日の診療と、次の火曜日の振替休診は、従来どおり実施いたします。

4月の日程

11日(第2土曜日)	休診	21日(火曜日)	振替休診
19日(第3日曜日)	診療日	25日(第4土曜日)	休診

小国町立診療所 TEL 95-2010

NHK学園の 生涯学習通信講座で学習を!

NHK学園では、生涯学習通信講座春期の受講生を募集しています。

◎生涯学習通信講座

教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁介護福祉など74講座187コースを開講いたします。NHK学園の生涯学習通信講座は、18年の歴史があり今までに250万人の方々に受講いただいております。

また、2,000人の講師陣が添削し、いつでも質問にお答えいたします。

☆申込受付 平成4年2月1日~平成4年4月30日

☆案内書(無料)をご希望の方は、フリーダイヤルでどうぞ

0120-06-8881

またはハガキで住所・氏名明記のうえ下記へご請求ください。

〒186-01

東京都国立市富士見台2-36

NHK学園8E11係宛

JRの「駅のきっぷ発売時間」 について

日頃、塚山駅をご利用いただきありがとうございます。

JR東日本では、平成4年3月14日からのダイヤ改正にあわせ、駅における「きっぷの発売時間」を次のように、させていただきます。

塚山駅 7時00~19時30

なお、特急列車など指定券が必要な列車につきましては、あらかじめ上記の発売時間内で、特急券、寝台券などをお買い求めください。

また、きっぷの払い戻しにつきましても、上記の発売時間内で取り扱っていただきますのでよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

JR東日本塚山駅 94-2203

書道教室

(2月の作品)



俳句教室

2月の作品

雪晴の外に遊ばず保母の笛

田中 重男(相野原)

癒え初めし夫の髪剃る四温晴れ

北原 テイ(太郎丸)

雪晴や笑ふと見えし仁玉の口

山口 清作(金沢)

魚焼く四温に猫の坐り込み

栗林 諸向(法坂)

折鶴に四温の息を吹き入る

米岡 とき(諏訪井)

平成4年3月15日発行

小国町教育委員会

ふれあい

スキーシーズン終る

町営スキー場のロープトゥは、1月11日より土曜・日曜・祝日の16回運転をし、おおぜいのみなさんから利用いただきました。

3月8日を最後に運転を終了させていただきました。

▼総合滑走女子の部 スタート



◆成績◆

・総合滑走(男子)

- 1位 今井 正司 (上小国小)
- 2位 佐々木 翼 (浜海小)
- 3位 山我 敏也 (上小国小)

・総合滑走(女子)

- 1位 渡辺 要子 (上小国小)
- 2位 長谷川優嘉 (〃)
- 3位 長谷川優花 (下小国小)

・回転

- = 4年男子 =
- 1位 田中 直樹 (上小国小)
- 2位 山口 和之 (浜海小)
- 3位 竹部 亮 (〃)
- = 5年男子 =
- 1位 山岸 健 (浜海小)

- 2位 山岸 一喜 (浜海小)
- = 6年男子 =
- 1位 永見 芳幸 (浜海小)
- 2位 広田 統 (〃)
- 3位 竹部 誠 (〃)

- = 中学男子 =
- 1位 岩野 広和
- 2位 中島 雄介
- 3位 小川 勤

・距離

- = 中学女子 =
- 1位 原 由香
- 2位 中村 美保
- 3位 田中麻衣子
- = 小学4年男子 =
- 1位 田中 彦太 (上小国小)

◎町民スキー大会(2/16)
少雪のため数年実施できなかった大会でしたが、今年は非常に悪天候のなか開催されました。途中から横なぐりのみぞれに悩まされながらも、参加した児童・生徒達は元気いっぱいタイムを競いました。成績は次のとおりです。

- 2位 羽島 当 (上小国小)
- 3位 笹崎 裕司 (〃)
- = 小学4年女子 =
- 1位 田中 智子 (浜海小)
- 2位 飯田 歩 (〃)
- 3位 中沢 優子 (〃)
- = 小学5年男子 =
- 1位 小島 英樹 (上小国小)
- 2位 岡村 真吾 (〃)
- 3位 保坂 弥 (〃)
- = 小学5年女子 =
- 1位 山岸麻衣子 (上小国小)
- 2位 北原 沙織 (〃)
- 3位 今井 由喜 (〃)
- = 小学6年男子 =
- 1位 大久保和嗣 (上小国小)
- 2位 山岸 智史 (〃)
- 3位 北原 秀和 (〃)
- = 小学6年女子 =
- 1位 高橋 千秋 (上小国小)
- 2位 中島 千尋 (〃)
- 3位 小堀真理子 (〃)
- = 中学男子 =
- 1位 片桐 達也
- 2位 長谷川 隆
- 3位 大橋 靖昭
- = 中学女子 =
- 1位 岡村ひとみ
- 2位 小川 藍子
- 3位 山我美智留

なサンアントニオのリバー・ウォーク(河岸遊歩道)というものだ。これは都市の中に二つの高さのレベルを作り、都市の持つ機能を分けたものだ。具体的には、住宅やオフィスビルなどが建つ、我々が通常生活を行うレベルと、散歩や日光浴、時にはジャズ喫茶のようにお酒と音楽を楽しむ所や、ショッピングマートなどがあるレベルとに分かれているのだ。前者は、地上の高さで、後者は、リバー・ウォークという名が示すように川の水面の高さにある。この川は実際には運河で、サンアントニオの西端に流れるサンアントニオ川から水門によって水量を調節している。その水面の高さの差は±5センチというから驚きだ。その水路は、街の中をU字形に走り、観光水

上タクシーが行き来している。水路の両岸はもちろん遊歩道になっており、そこだけで市内観光が出来るくらいだ。遊歩道と水路の間には手すりなどはほとんどなく、水と街が一体となっている。日本では必ず、子供などが落ちないように安全のためと言って手すりなどを付けてしまうところだが、ここでは、しっかりした柵の下では、そのような危険はありえないという考え方で、豊かな生活空間の方を優先にしているのだ。もし子供が落ちたら、それは親が悪いのだ。そして、その雰囲気は「水の都」を思わせ、実際に、「アメリカのヴェニス」とも呼ばれる。この街で良かった所がもう一つある。それは私達が泊まったホテル、「セント・アンソニー・インターコ

ンチネンタル・ホテル」である。トラヴィス パークというリスのたくさん住む公園に面していて、中世のお城のようなそのインテリアは驚くべきものである。ラウンジなどのイスやテーブルは博物館に展示できるほどの素晴らしい装飾で、「本当に座っていいのかな?」と思わせる。現地の観光ガイドさんの話では、「20年ほどアメリカに住んでいますが、こんなに素晴らしいホテルはない」とのこと。私達もこの旅行でいくつもの有名なホテルに泊まったが、一番良かったと感じたのがここだ。

まだまだたくさん紹介したいのだが、最後に、この旅行を実現できたことを小国町に感謝したい。本当にありがとうございました。

1991年10月16日

成人式のお知らせ

平成4年度の成人式を次のように行います。

- ◆実施日 5月3日(金)憲法記念日
- ◆会場 農村環境改善センター
- ◆対象者 昭和46年4月2日～昭和47年4月1日の間に生れ、現在小国町に住所を有する方。
- ※ 小国町に住所を有する対象者のみなさんには、4月10日(金)までに案内状を差しあげます。最近の転入等で案内状が届かない方は、小国町教育委員会事務局までご連絡ください。(☎95-3111)
- ※ 町外に居住している町出身者で、式に参加を希望される方は、4月15日(水)までに教育委員会にご連絡ください。
- ※ 服装は華美にならないように、平服でご参加ください。

春をよぶうきうき映画まつり

- 春休みももう間近!
- 楽しい映画・感動する映画、家族そろって鑑賞してみたいかがでしょうか。
- そんな夢を実現するために、町民会議では映画会を計画いたしました。おおぜいの皆さんのご来場をおまちしています。
- ☆期日 3月20日(金)春分の日
- 午後1時 開場 午後1時30分 上映
- ☆会場 農村環境改善センター
- ☆上映作品 アニメ「アニメ三銃士」「デビルマン」
- 劇映画「一杯のかけそば」
- ☆入場料 無料
- ☆その他 ゴミは自分でもち帰りましょう。
- 主催 小国町青少年育成町民会議
- 後援 小国町教育委員会

体育館利用者会議開催について

町内の各小・中学校及び農村環境改善センター、勤労者体育センターは、町民のみなさんの体力づくりやスポーツ活動の推進、文化向上の為に体育館等を支障のない範囲で開放しています。

平成4年度中に一定期間又は年間を通じて活動を行う予定の団体グループの代表者は、下記のとおり会議を開催し利用日の調整を行いますのでお集まり下さい。

日時 4年3月27日(金)

会場 就業改善センター

※個々の団体、グループに対しては通知しませんので、ご了承願います。

スポーツ安全保険に加入しましょう

- 平成4年度のスポーツ安全保険の加入受付がはじまっています。
- 子供会や運動クラブなど、5人以上の団体であれば加入できます。加入して万一のケガや賠償責任・突然死などの事故に備えましょう。
- =掛金(1人年額) =
- ・子供・文化活動団体員 360円
- ・一般 1100円
- ・老人クラブ団体員 500円
- =補償 =
- ・事故による死亡・後遺障害 (老人クラブを除く) 1400万円
- ・同上(老人クラブ員) 400万円
- ・入院1日につき (老人クラブを除く) 4000円
- ・同上(老人クラブ員) 1800円
- ・通院1日につき (老人クラブを除く) 1300円
- ・同上(老人クラブ員) 800円
- =賠償責任 =
- ・対人 1億円
- ・対物 500万円
- ・心臓マヒなどの突然死の見舞金 50万円
- ※ 申込み・問い合わせ先
- ・スポーツ安全協会新潟県支部 (☎025-222-7344)
- ・小国町教育委員会 (☎95-3111)

あなたも何か始めてみませんか

～生涯学習のお知らせ～

次のように、講座・教室を開催しています。みなさんも「1人1

学習・1スポーツ」をめざしてご参加ください。1日だけの参加でも結構ですの

で、ぜひおいでください。準備の都合もありますので、ご希望の方は就業改善センターへお申し込みください。(☎95-3575) 平成4年3月16日～平成4年4月15日分

講座名	開講月日	時間	講師	会場
成人学級				
・書道教室	3/19(木), 26(木), 4/2(木), 9(木)	午後8:00～10:00	滝沢 俊山 先生	就業改善センター
・生花教室(古流)	3/21(土), 4/4(土)	午後1:00～ 3:00	中橋みきえ 先生	〃
・〃 (池坊)	3/28(土), 4/11(土)	午後1:30～ 3:30	樋口 芳枝 先生	〃
さわやかレディース	スポーツ教室			
・エアロビクス教室	毎週火曜日	午後7:30～ 9:00	山田 晴美 先生	中央公民館

お店の近くの工場に置いてある自動販売機の見回りなどをし、6時半になるとお店のシャッターを開けます。

こんな風に我が家の朝はなかなかいそがしいようです。

私が見ている大変だなと思うのは、食事中です。お客さんがやってくれば急いで出ていかなければなりません。ついさっき、やっと座れたかと思えばすぐに立ちあがるなんてこともしばしばあります。でも、母たちにとってはお客さんはありがたいものです。いつも元気よく、

「はあーい、いらっしゃいませ。」と笑顔でお店に出ていきます。

小さい頃から、自分の家がお店であるのがあたりまえのことと生きていました。でも、普通の家に生まれたかと思うことがよくありました。それには理由がありました。自営業であるので日曜日でもお店は平日と変わらず開きます。まさに年中無休なのです。幼い頃の私にとっては友達のように家族ででかけたりするというのがうらやましくてたまりませんでした。もちろん少しもでかけない

というわけではありませんが。小さかった時は、こんなことでよくお店に生まれたことがいやだと思っていたのです。

でも、今は違います。こういう環境に生まれてむしろ良かったのではないかと、そう思うようになりました。普通の家庭では、両親が働いている姿はなかなか見られないのではと思ったからです。その点、私はどんな仕事をしているかもだいたいわかっています。それに、休みの日なんかにお店の手伝いをするお店にくるいろんな人と話をすることもできます。

ところで、私が家族にできることはなんだろうと考えてみました。私が考えついたのは夜、お店の仕事が終わった頃、少しでもくつろぎやすい時間をつくってあげるとか肩をもんであげるとか。きっとこんな小さなことだけでもずいぶん疲れがとれるんじゃないかと思えます。私が部活をやっていた頃、疲れて帰ってくればジュースとおやつを出しておいてくれました。その時のことを思い出すとそれがいいと思えます。

楽しい話や、学校であったことなど心の安らく話をするのもいいでしょう。

考えてみると日曜日にも休まないというのは、母たちにとってすごく大変なことだと思います。私は今まで自分のことばかり考えて母たちを困らせたことがよくありました。私たち子供のために働いているのです。だからほんの少しの休憩時間を大事にしてあげること、それが家族に対する家族の思いやりだと思います。

こうやって家族について深く考えることが今までほとんどなかったような気がします。だから、今まであたり前に思えていたいろんなことがすごく心のこもったあたたかいものだと分かりました。これからどれだけ家族の役にたてるかは分かりません。でも、少なくとも家族の大切さというものが分かるようになりました。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、2人のお兄ちゃん、これからもずっと優しい目で私を見守って行って下さい。そして、今まで以上にみんな仲良く協力していこうね。

あとがき

○ 今回の明るい家庭づくり運動に関する作文募集は、同じ内容で新潟県主催事業としても行なわれました。その中で、小国中学校1年、山田幸代さんの「昔の我が家より」が、見事佳作に選ばれました。今誌では、紙面の都合で掲載できませんでしたが、次の機会に必ず紹介したいと思います。

○ 子供たちの作文を読む機会などほとんどないのですが、こうして読んで見ると、子供たちの純粋な気持ちが伝わってきます。

家族のこと、親の仕事のことなど、大人たちが思っている以上に、家庭内のことをよく見えています。私たち大人は、その子供たちの純粋な心を理解してやり、押しつけだったり、逃げたりするのではなく、子供たちに真正面から付き合うことが大切な気がします。

『明るい家庭づくり運動』 作文入選集

主催 小国町青少年育成町民会議
後援 小国町教育委員会

小国町青少年育成町民会議では、明るい家庭づくり運動に関する作文を、町内小中学生より募集いたしました。「親の仕事」「我が家の歴史」「明るい家庭にする工夫」などについて、すばらしい作品がたくさん寄せられました。大変ありがとうございました。

審査の結果、優秀作品として「入選」11編、「佳作」19編を選出いたしました。町民会議では、入選作品集をつくり、町民の皆様からお読みいただくとともに、青少年の健全育成の一助になればと存じます。

しめなわづくり



下小国小学校
1年 いからしまい子

おじいちゃんが、だいどころのストーブのまえで、わらでなにかつくっていました。さっきまでいっしょにテレビをみていたおねえちゃんが、おじいちゃんになわをおしえてもらっていました。

「なにしているの。」
と、わたしがきくと、おじいちゃんが、
「しめなわづくりをしているんだよ。」

といいました。おねえちゃんは、しんけんにりょう手をこするようにして、なわをなっていました。「まい子もちようせんするかな。」とわたしがいうと、おじいちゃんも「よし、まい子もやるか。」といいました。

おじいちゃんは、さいしょみどりのわらをポキッと切るようにして、手のひらでねじりました。「こうやるんだぞ。」

と、おじいちゃんがいました。わたしは、やってみました。でも、りょう手でねじるのが、うまくできませんでした。わたしは、「ねえ、おしえて、おしえて。」と、おじいちゃんのおくをひっぱってたのみました。おじいちゃんは、わたしの手をもって「こうやって、ゆっくりとねじる」といいよ。」

と、おしえてくれました。おじい

ちゃんの手は、大きくてしわがはいっていました。

そして、わらをつぐところは、おじいちゃんにやってもらいました。ながいながいなわができました。わたしは、うれしくなって、「ほら、ほら、こんなながいなわができたよ。」

というど、おもちのよういをしていたおばあちゃんがやってきました。「1年せいにしては、じょうずだね。」

と、ほめてくれました。わたしは、うれしかったです。おじいちゃんも、ほめてくれました。おじいちゃんのわきには、わたしがつくったようななわと大きなしめなわがじょうずにつくってありました。わたしは、おじいちゃん、じょうずだなあとおもいました。

つぎに、するめやこんぶをつけました。おじいちゃんは、しめなわのりょうはしに、こんぶをむすびつけました。おばあちゃんはしめなわのまん中にするめを2まい、糸でしばりつけました。そしておじいちゃんが糸をもってきてかみだなにかざりました。

おばあちゃんが、「ほら、見てごらん。」

といったので、わたしとおねえちゃんは、かみだなを見ました。するめやこんぶがじょうずにつけてありました。

かみだながお正月らしくなりました。わたしは、お正月にはしん

せきの人がかかるかな、とおもいました。たのしくなりました。

わたしのおばあちゃん

渋海小学校
2年 関口 幸



わたしのかぞくは、7人です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、そして、わたしたち3人兄妹です。

うちのおばあちゃんは、とても太っています。ならさわでも一番です。だから歩くときとてもおそいです。でも、太っていてもうちのおばあちゃんは、いろいろなことができます。

まず一つは、春から秋まではたけしごとをいっしょうけんめいします。夏はあついで、朝早くおきてはたけに行き、ナスやキュウリをいもいで帰ってきます。夕方は、おそく、くらくなるまで草とりなどをしています。

でもおばあちゃんはそのやってもなかなかおなかをひっこみません。だからこのごろジョギングをはじめました。うちからしゅうぎょうかいぜんセンターまで歩いて帰ってきます。わたしは、12月中かぜをひいてばかりいたのですが今年は、かぜもなあってごはんがおいしいのでよく食べます。さいきん、

「幸の顔、むくんできたんじゃないの。」
と、お母さんにいわれました。なんだか太ったみたいでいやになります。だから休みの日には、おば

佳作19編の紹介

上小国小学校1年	こじまゆう	「わたしのかぞく」
渋海小学校1年	たかくわちはる	「うちのおたんじょう日」
上小国小学校2年	小川しんや	「目玉やき作り」
下小国小学校2年	角山けい子	「おふろそうじ」
渋海小学校3年	金子絢子	「日曜日にお父さんとあそぶこと」
下小国小学校3年	五十嵐彩香	「みんなであいさつ」
下小国小学校3年	原美弥子	「お母さんの入院」
上小国小学校4年	武蔵誠	「わが家の先祖」
渋海小学校4年	田中智子	「家族でトランプ」
下小国小学校5年	高橋裕美	「父と母の仕事を見て」
渋海小学校6年	高橋恵美	「夏と冬の家族」
下小国小学校6年	長谷川馨子	「キャンプ体験と母の仕事」
小国中学校1年	角山智美	「家族が明るくくらすには」
小国中学校1年	高橋友香	「子供育成行事について」
小国中学校3年	辰野美和子	「親の働いている姿を見て」
小国中学校3年	山崎真希子	「我が家の黒い太陽」
小国中学校3年	中村美香	「家族で」
小国中学校3年	長谷川洋樹	「僕の家」
小国中学校3年	片桐育子	「祖父母の仕事」

あちゃんといっしょに歩きます。

わたしのおばあちゃんは、だれよりもあせかきです。わたしたちがだれもあせをかかないすずしい日でも、

「あつい、あつい。」

とポロポロあせをかきながらごはんを食べます。でも、そんなときわたしは心の中で「きっとみんなのためにはたけにいっていろいろなことをしてきたんだ。」と思います。

うちのおばあちゃんはとても歌がすきです。へやにいるときも、カセットをかけて大きな声を出して歌っています。ふろに入っているときも、歌っています。ふろの中で歌うと、ひびいて歌がうまくなったような気がするそうです。おぼんのカラオケ大会のときも、歌ったことがあります。大ぜいの人の前でどうどうと、歌ってかっこよかったと思います。太っているのも、たまにはいいなあと思います。

わたしは小さいとき、おばあちゃんについてよくゲートボールのれんしゅうについていきました。わたしは、まだ小さかったのでしずかにいすにかけてまわっていると、おばあちゃんのなかまの人から、あめやおかしをもらいました。だから心の中で「ラッキー。」と思いました。

わたしたち兄妹はみんな小さいときおばあちゃんから、ふろにいらしてもらいました。赤ちゃんのときは、小さくて、くたくたしているのでふろにいれるのは、たいへんなんだそうです。わたしは、それをきいたときえらいなあと思いました。

わたしがともだちをつれてくると、いつも、おやつを出してくれます。おやつをもらうからいうんじゃないけど、いつまでも元気でいてほしい、太っちょおばあちゃん。



ぼくの家は新聞屋

上小国小学校

3年 中島 直之



ぼくは毎朝、
「ただいまー。」

と、言うお兄ちゃんの声で目をさします。お兄ちゃんが配達から帰って来た声です。

ぼくの家は新聞屋です。8種類の新聞を全部で700部配っています。お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、そして中学のお兄ちゃんも手伝って朝早く起きて新聞を配っています。

おじいちゃんは、毎日3時ごろに起きて家に来た新聞の中に、前の日組んだチラシを入れます。そしてかく地区ごとに分けます。それが終わると、となりの諏訪井地区の配達に出かけます。バイクで配達するので、手ぶくろをして行っても、手がつめたいと言って帰ってきます。ぼくは朝、くらいうちから仕事に出ているおじいちゃんは、すごいなあと思います。

お父さんはおじいちゃんが分けた新聞を持って、地区の配達してくれる人の所をまわります。それからとなりの小国沢地区の配達をします。

おばあちゃんとお兄ちゃんは、ぼくたちの住んでいる地区を配っています。

お正月は新聞もあついし、チラシのりょうも多いので、1回で配達できないから、時間がかかって大へんです。

ぼくの家は朝が早いので夕はんも早いです。おじいちゃんはおはんの前におふろに入っておくので、とくに早くねます。

おばあちゃんはおはんの後におふろに入るので少しおそくなります。

朝早くからはたらくおじいちゃんや、お父さんのために、お母さんは部屋をあたためたり、そうじをしたりごはんを作ったりしています。気持ちよく配達に出られるように、また、帰って来てゆっくり休めるように考えているそうです。

ぼくは、お父さんが仕事のつごうで夕方いない時、お母さんの手伝いをしてチラシを組みます。でもきかひのスイッチを押すだけです。チラシがつまるときかきか止まるので、その時はもう1度スイッチを押します。このチラシ組みというのは、何まいかあるチラシを、新聞に入れやすいように1つにまとめることです。お姉ちゃんも、ぼくといっしょに手伝います。

おじいちゃん、お父さん、おばあちゃんは、
「毎朝やる仕事だから、休みがなくて大へんだけど、みんなが新聞を待っているの、やりがいがあるよ。」
と、言います。

おじいちゃんとおばあちゃんは、この仕事を、ずいぶん長くやっています。この仕事にとっても自信を持っているようです。

ぼくは、家中の人がみんなで力を合わせてはたらく新聞屋が、だんだんすきになってきています。

キャッチボール

下小国小学校

4年 相波 真介



ぼくは、ときどきお父さんとキャッチボールをやります。

弟はあまりボールをとるのが上手じゃないのでたまにぼくといっしょに練習をします。どういう練習かというとかべにボールをぶつけてそのボールをとったりする練習です。

ぼくとお父さんとキャッチボールをやっていると近所の人によく「上手だ。」

と言われます。それは、いつもお父さんがぼくをきたえてくれたからだ、ぼくは思います。

ぼくがお父さんに
「いつごろから野球を始めたの。」と聞いてみたら、お父さんが「保育園くらいじゃないのか。」と言いました。

保育園くらいといえば5才か6才の時です。ぼくは、1年生か2年生くらいから野球を始めた

ずっと思っていました。ぼくはびっくりしました。ぼくの弟もやっぱり5才くらいから始めたとお父さんがいっていました。

ぼくたちがキャッチボールをしている場所は、ぼくの家前の道なので車や自転車がくるといちいちどかなきゃいけないのでとてもめんどくさいです。なので野球のできる公園が近所であればいいと思います。そうすればノックもできるし、友達といっしょに野球もできるからです。

今は、お父さんの方が速いボールをなげるけどぼくが中学生くらいになればきっとお父さんよりボールを速く投げられると思います。なぜかという、小さい時はボールをあまりとれなかったけど、お父さんとずっとキャッチボールをしているうちにだんだんとれるようになってきたからです。

ぼくたちは、他の学校のチームといっしょに野球のしあいをしました。その時は4年生が入っていましたが、他の学校のチームは5年生と6年生しかいませんでした。

ぼくは、4年生でしあいにでられました。それは、小さいころからキャッチボールをしていたおかげだと思いました。

ぼくは、2番でサードでした。エラーもしたけどとてもがんばりました。打つ方は5回くらいでしたが全部フォアボールでした。

ぼくは、まだ体が小さいので今年は、もっと大きくなってがんばりたいです。そして、お父さんにノックをしてもらったり、キャッチボールをしてもらって今年はずっと強いチームになりたいです。

ぼくは、お父さんと練習する時たまに、野球場でやることがあります。広い場所でノックをとったり、バッティングをしたりする練習です。ちょっと疲れるけど野球がうまくなるのでお父さんにおしえてもらいながらがんばりたいです。

私の家族

上小国小学校

5年 今井 由喜



私の父は、大工だ。毎日、朝早くから、お弁当を持って仕事に出かける。夜はいつもおそい。そんな父には、心から感謝しなければならぬと思う。その父の作った家を、何回か見に行ったことがある。父の作った家はいつもすごいなあと思う。私の夢は、父の作った新しい家に家族みんな、住むということだ。

次に母。私の母は農協につとめている。貯金や保険、カントリーの仕事でいつも大変そうだし、いそがしそう。でも、夕方には元気な笑顔で帰ってくる。母の仕事は、これで終わりではない。まだまだある。家族の夕ご飯のしきたりがあるのだ。やはり、大変そう。母を見ていて私は考えた。「私にできることはないのだろうか」と。思いついたのは、手伝いだ。なるべく手伝いをしようと思った。これからは家族があまり入院などをしてほしくないと思ってる。父や母にも仕事でがんばってもらいたいと思ってる。

今度は祖父。祖父は1年中、いろいろな種類のしめなわを作っているのだ。祖父の作ったしめなわは、とても力強くじょうぶにできている。いつ見ても祖父の作ったしめなわは、すごいなあと思う。お正月、祖父の作ったしめなわは毎年、げんかんにかざられる。やはりすごいと思う。私も2回ぐらいいしめなわを作らせてもらったことがあるのだが、だが、私はなかなかうまくいかないのだ。やっぱり、祖父にはかなわない。私は、祖父がえらいと思った。

最後に祖母。祖母は、野菜作りの名人だ。家族みんなが食べる、新せんでとてもおいしい野菜を畑で作ってくれる。だが、私の祖母は体が弱いのだ。だから、病気になることが何回もある。でも、祖母は、そんな体の弱いことも気にせず、せせせと畑に行く。そんな祖母も、やっぱりえらいすごい

と思う。私は、祖母には、あまり無理をしてほしくない。祖母には、いつまでも元気で、新せんでおいしい野菜を作ってもらいたいと思う。だから、もう少し自分の体を気づかってほしいと思った。

私の家族は一言でいうと、明るくたくましいと思う。なぜかといえば、今まで紹介してきたように、家族全員が、みんながんばっていると思うからだ。そんな家族全員には、やはり感謝しなければならぬと思った。でも、そんな私の家族でも、なんとなく暗くなってしまうことがあったのだ。私の祖父や祖母が何度か、入院したことがあったからだ。家族1人でも、いなくなったりするとやはりさみしくなってしまう。これからは家族があまり入院などをしてほしくないと思ってる。やはりみんなが明るくすごすといえ、健康が1番だと思ってる。特に体の弱い、祖父や祖母にはあまり無理をしてほしくない。そして、いつまでも元気でいてもらいたい。父や母にも仕事でがんばってもらいたいと思ってる。

ぼくたちの始まり

渡海小学校

5年 山田 秀太



むかし、むかし。小国町の相野原に「とくえんのいもち」と言う家がありました。そこに、1人の若者が、おむこさんに来ました。そして、健康な3人の子供たちができました。

1人目は、女の子でした。

その子が生まれる時、お母さんは、「りんごが食べたい。」と言って、お父さんにりんごを買ってきてもらいました。そして、その家を建てかえるときに、相野原の、「もせん」と言う家にとめてもらっていました。お姉ちゃんは、そのもせんから、保育園にかよっていました。そして、新しい家が建ちました。そして、2人目の男の子が生まれました。

その男の子が生まれる時、お母さんは、
「キャベツが食べたい。」
と言って、お父さんが畑からキャベツを取ってきました。
それから3年後、また、お母さんに子供ができました。お父さんは、
「何が食べたい。」
とお母さんに聞きました。
お母さんは、
「りんごが食べたい。」
と言いました。
そして、ほくたち3人がそろいました。
3人の中で、ほくだけが男でした。お父さんは、お母さんが、「キャベツが食べたい。」と言った時、男の子だと分かったようで、生まれる前から名前を決めていたそうです。そして、決めた名前が、お父さんの「秀」の字とほくがじょうぶな子になるように「太」をつけて「秀太」でした。
ほくたちは、大変仲良しでよく遊んでいました。
お姉ちゃんが、小学生になりました。
その時、ほくのおばあちゃんは、保育園の給食のおばさんでした。ほくは、お姉ちゃんにいじめられると、おばあちゃんの所へ逃げたっていました。
ある冬の日のことでした。
ほくとお姉ちゃんが雪で遊んでいると、とつ然、お姉ちゃんがいなくなりました。しかたなく1人で、ブロックべいからとびおりに遊んでいると、雪にはまって足がぬけなくなりました。ワーワー泣いていると、お姉ちゃんが来て助けてくれました。
そして、ほくも1年生になった頃、お姉ちゃんは4年生でした。お母さんに
「ほくの生まれたときは、どうだったの。」
と聞くと、
「とても元気がよくて、水遊びが好きだったよ。」
と言いました。
そして、ほくが生まれる、1年

前に、今、住んでいる家ができたことも教えてくれました。
ほくが4年生になった時、妹が入学してきました。
ほくは、お母さんに、
「どうして、ほくの家には、おじいちゃんがないの。」
と聞きました。
お母さんは、
「秀太が生まれる前に死んじゃったよ。」
と言って、うるうる目になっていました。
ほくたち家族は、1年に2、3回くらい、お父さんの実家に行きます。
お父さんの実家に着くと、おじいさんやおばあさんは、大喜びをしてくれくれます。特に、おじいさんは、ほくにやさしくて、いつも何かを買ってくれます。
そして、ほくは、小学5年生になりました。お姉ちゃんは、中学2年生。妹は、小学2年生です。
お父さんは、毎日、一生けん命働いて、ほくたちを育ててくれます。ただ、もう少しお酒の量を少なくしてくれるといいと思います。
お母さんは、時々、エアロビクスをやっています。いつも明るいお母さんです。
おばあちゃんは、家について、食事の用意をしてくれます。
みんなが明るく、楽しくくらししています。これからも、ずっとずっと仲良くくらししていきたいなあと思います。

人のために

上小国小学校
6年 大久保和嗣

「雪が嫌い。」
と、言っは1月から3月いっぱいまで、群馬の方に仕事に行く父。春になるとまた、朝早くから夜おそくまで仕事をする。ほくが、小さい頃から、サラリーマンと違って日曜日でも休みなく仕事することが多く家にいることが少ない。でも、家にいる時は、時間を見つけては、ほくの遊び相手になってく

れる。やさしい父。
父の仕事は左官。左官という仕事は、大工にましがえられるほど、あまり知られていない仕事ではないかと思う。なぜかという、昔、ほくもこんな職業があるとは分からなくて大工とましがえていたからである。うちの父は、今は、左官の仕事をしているが、昔は、農家だったそうだ。
左官は、家の土台ともいべきものを作る。
だから、外仕事が多い。雨が降っても、外にも同じことを聞いてみた。すると、ほくと同じように「汚い。よごれる。重たいものを持つ。というところからきているのではないか。」
と、父が答えてくれた。
確かに左官は、今、人気のない仕事かもしれない。でもこの左官という仕事をする父をほくはほりに思っている。なぜならこの仕事は、力、技術、度胸が必要であるからだ。
どういうことかという、技術では、例えば、金づち。ふつうは、くぎを打ったり、くぎをぬいたりするのに使う道具である。しかし使い方によっては、まわりにくいねじを、たたいてまわしたりすることもできる。工夫した使い方によって1つ1つの道具がいろいろと役立つようになってくる。また、はじめから1つ1つの道具は役目をもっている。その役目を生かしたり、工夫したりするのが職人であると、父の仕事を見ていて、感じさせられた。
仕事だったら、きちんとやらなくてはならない。以前、父に、
「仕事をしていて何が1番大変なの。」
と、聞いてみたことがあった。すると、父は、
「重たいのを手作業でしなければならぬことかな。」
と、答えてくれた。また、
「自慢したいことは何。」
と、聞いてみると、
「かべがしあがると、部屋がきれいにみえるだな。それと、大変な

仕事を手がけ、うまく仕上がったときにお客様が喜んでくれることだな。」
と、ほこらしそうに話してくれた。
父がこのように自慢する仕事も今や、人気のない仕事の1つのようなだ。年々、やる人が減っていくみたいである。なぜ、人気がないのだろうか。「重たい物を持ちたり、汚れたりする。」からではないかとほくは思った。父が度胸が必要と考えた理由は、自ら体験してみても分かったことだ。この前、高い所の作業が終わった後、その足場を取りはずすのをほくは手伝ったことがある。初めは、下で父の下ろす足場の道具を取って運ぶだけだったが、何となく自分で上へ行ってみたいとなり、上ってみた。行ってみると、下にいる感じと全く違うものすごく高いと感じた。上から下を見ると、まるですいこまれるようだった。しかも、高さのせいかわれがはげしかった。
一応、落ちないように工夫してあるのだが、それは2つの鉄の棒を交差させて、手すりみたいにしているのと、すべらないようにしている足場の板だけである。後は、組み立てのときに使ったタンカンだけで支えているのだ。もし、落ちたら死ぬ、というくらいの高さがあったので、1キロぐらいの道具を下に下ろすのでさえもかなり緊張をした。
それなのに父は、ほくの10倍ぐらいの物をその高さから、ロープで下ろしていた。そんな、父の顔はこわいという感じはでていなかった。ただ、額からは、汗がでていた。やはり、心の中では緊張していたのだろうか。
この作業は、度胸と力がものをいう仕事であったと手伝った日に思った。
このようなことから、力、技術それに度胸が必要だと感じたのである。左官という仕事は、力、技術、度胸がなければできないのである。
家にいればどこにでもいそうな

ふつうの父親だが、仕事をするようになったら人が変わったように働く父。建てている家の人のためにも、自分の家族のためにも一生懸命に働く父。
こんな父から学んだことは、
「人のためにも自分はせいっぱいやる。」ということである。
「明るい家庭」にする工夫
小国中学校
1年 安沢 豊実 
「明るい家庭」という言葉だけでも、考えさせられる事はたくさんあります。
さて、「明るい」とは、どのような状態なのでしょう。まずは、それを考えてみようと思います。
私が考えてみて思うには、多分家族の間に争いがなく、まとまっている状態だと思います。それに付け加えて、もちろん会話をよくする家庭も明るいと言えるでしょう。
では、私の家と比較してみます。私の家はもちろん家族の間には争いはありません。会話はわりとよくするほうです。夕食後とかに話をします。とても長い時は2時間という時があります。話の内容は、学校の事とか、友達の事とか、それはもういろいろです。だから家庭の日だからと言って、特別何もありません。
私の考えは、家庭の日だからと言って特別何かをする訳でなく、やはり普段からやっているのが1番だと思っています。普段何もしない家が、
「今日は家庭の日だから何かするか。」
なんていきなり思わないだろうと思うからです。普段からやらないのに家庭の日に限ってできる訳ありません。
もし家庭の日に活動している家庭がいればそれは普段からもやっている家庭だと思います。そして、その日はいつもより充実させるといような事を思って活動しているのだと思います。
明るい家庭にするための工夫と

いわれてもそうすぐには思いつきませんが、まずは心構えだと思います。「明るくしよう」「明るくしよう」と思っていれば、自然に行動にうつされると思うのです。だから、普段からの心構えが絶対に必要だろうと私は思います。
私が考えた工夫は、気軽にやれる事です。家族みんなで旅行へ行くとか、そういうのではなく、いつも、気軽にやれる事です。
それは手伝いなどです。家の人が何かしている時、何か困っている時、そういう時に助けるのが家族です。だから、そういう時に手伝ってあげれば、家族もありがたいと思うだろうし、自分もなんたかいい気分がすると思います。
また、家族で何かしたり、地域の行事に参加する事も、良い方法ではないでしょうか。家族全員でそういうのに参加する事によって家族の信頼はもちろん、協力が深まると思うのです。
どちらとも、「進んでやろう」という気がなければ、できる事ではないと思います。だから、何事も自分から積極的にやる事が1番良いのです。
私も手伝いをします。お正月のおせち料理を作る時には、1日中手伝っていました。自分から進んでやったのは良かったのだけど、なんだかとても疲れました。母の大変さを少しだけわかったように思えました。
始めの方に、私の家は会話をわりとよくすると書いたけど、これは別に、話そうと思って、明るくしようと思って話している訳ではありません。昔からそうなのです。だから、当たり前のことと思っています。これが普通なわけです。
だから、私の家は、まあ明るいと言えるだろうと思います。
多分私は、家庭内が明るいという事は、ひとつの幸せなのだと思います。何となく、そういうふうに考えました。
「明るい家庭」というものは、自分1人で少しのたしにはなるかもしれないけれど、最終的には、

家族で築きあげていくものです。だから、自分から家族に呼びかければいいと思います。

私は、この作文を書く時、たいへん時間がかかりました。そして、ものすごく考え、困りました。それもそのはずです。普段からこのようなことは、もちろんあまり考えないからです。

それはどうしてかという、家には、これといった問題もないし、いたって平和です。暗くしんみりとごはんを食べる事もほとんどないので、「あっ、明るくしなくては」と思う時がないのです。だから、このような事はあまり意識して考えたことはありませんでした。

これからは、より一層家族の協力を深め、明るい家庭を保ち続けたいです。

今後、突然このような事を考えなくていいよう、願っています。

昔の生活から学ぶこと

小国中学校

3年 宮川友紀子

父や母が子供だった頃、今のよように、生活が決して楽ではなかった時代、もっと暖かい家庭がそこにはあったのかもしれませんが。祖母がよく話す中に、祖父はいつも子供達を、しかっていたという様な事があります。今の私達の生活の中で、毎日毎日子供を大声でどなりつけるというお父さんの話なんて聞きません。昔と今のそのような違いがこの何十年という間に、どこから生まれてきたのでしょうか。

私は、その第1の原因は、親と子供の会話が少なくなってきているという事だと思います。そして、その原因を作ったのは、生活の豊かさの中にもあるように思います。昔、まだどこの家の中にも囲炉裏があった時代は、もっとたくさんの会話が合ったそうです。その会話が、テレビによって少なくなり、1人部屋によって少なくなり今のようになってしまったのだと祖母は言います。私達は1日の中で、ほとんどと言ってよいほど

親との会話がなくなること気付くと思います。実際、自分で考えてみても、家族みんなで話し合えなんて言われてもと考えこんでしまいます。しかし、今は、それが普通だ、別に私には関係ないなあ…。などと思ってしまうのも事実です。昔の生活から見ると今は、くらべ物にならないくらい豊かな生活がある反面、豊かになるということや、少し考えさせられるような一面があることに驚いてしまいます。

では、昔たくさん親と子の会話があるということにどの様な利点があったのでしょうか。子供は、親のはなしを聞いて、自分の世界がどんどん広がっていきたり、自分の親のことをたくさん知ることができると思います。そして、時がたち、親だった人達が、私達の祖父母になる頃、あの時、こんなことを話した、あんな話が出てきて、おもしろかった。などという思い出がたくさん出来ることでしょう。私は祖父母から、「お前のお母さんはこうだったんだよ。」

「昔はこんな生活をしていたんだよ。」
などという思い出話を聞いて、楽しそうだなあと思った事が何度もあります。また、祖父母も最初は忘れたなどと言いながらも、たくさんのお話を教えてくれます。そんなとき、私も、こんな風に子供や孫に伝えることができたいと思います。会話というものは、私達の生活で無くてはならないもので、とても大切なものです。昔ばなしでよく出てくる囲炉裏を囲んで聞いた話というものは、私達に暖かさを運んでくれるものでもあります。

私が祖父母から聞く生活の様子で、今と大きく違い、心に残っている事がもう1つあります。それは、とにかく昔の子供、つまり私のお父さんやお母さんはよく働いたということです。学校に行く前に働き、学校から帰るとまたすぐに働いていたそうです。その話を

聞いた私は、ただそれに驚くばかりです。それも、親の大変な苦勞を子供がよく知っていたからではないかと思えます。それもまた、子供達が親との会話から学びとった大切なことではないかと思えます。そこから学べることは学校で教わるのとは違い、何か、現実感があり、働いて、親に少しでも楽をしてもらおうというものかも知れません。そのように家庭というものは、昔、大切な学習の場であったのかもしれない。

この忙しい私達の現代社会の中で、1時間も2時間も親とよく話し合えと言われても、無理のような気がします。しかし、少しでも親との会話の時間を作っていくことはとても大切な事だと思います。自分自身、ほとんど会話を持たない私にとって、遠いのはなしのような気もします。それでは、昔の生活から学んだ、会話の大切さを知ったことによって、「少し会話なんて。」という気持ちから、やはり少しは必要なものなのかなあという気持ちになってきました。

昔の様な囲炉裏などは今では姿をすっかり消してしまいました。しかし、今までの良い生活習慣や、今までのよい伝統などは、形は無いけれども、決してなくしてはならないと思えました。そうすれば、私達は、親と子のいる家庭から、すばらしい事を学びとり、とても勉強になると思います。私は、昔の生活を祖父母から聞く事が出来たことによって、家庭での会話の大切さを知ることができ、とてもよかったです。私達中学生は、これからはもっと忙しくなると思います。そんな中で、少しでも親と話し合える機会が持てたらと思います。

私を見る父の姿と家庭

小国中学校

3年 牧野 裕美

「もう、7時過ぎたよ。呼んでみようか。」
「そうしてちょうだい。」

そして、私は意気込んで電話の受話器をとって内線の番号を押す…。

「もう、御飯できたよ。」

「あ、もう少しかかるから、先にはじめていてくれ。」

これは、我が家で定着している会話のひとつです。

私の家は、自営業をしています。私が6歳の時に父は役場を辞めて、今の仕事をはじめました。父の仕事は設計士で、自営業ですから当然のごとく父は社長でもあるのです。そして、その会社が家のすぐ隣り…というより家の敷地の中にあるので家と同じような感覚になってしまうこともしばしばありますが、社員の人たちの姿を見ると、家じゃないんだなあ…と思うのです。

今でだからこそ、「会社」という建物の中で仕事が行われていますが、はじめのうちは家の2階の1室で、父は1人で仕事をしていました。当時、私はまだ6歳でしたが、幼いながらも父のことを心配し、正直言えば半分はその仕事に対する好奇心もからんで、よく父の様子をのぞきに行ったものです。

そこには、いつもは見たことのないような父の姿がありました。父の描いている図面は、ほんとうに細かいもので、線がびっしりと引いてあり、その脇には、数字にわけのわからない単位のようなものがついたものが書いてあったりして…ほんとうに不思議な1枚の紙でした。

そして、その頃の父はほとんど毎日が徹夜でした。いきなりこの仕事を始めたわけですから、本当に勉強するのが大変だったのでしょう。

私はあの頃、「あれ、まだ起きてる。」という位にしか思っていていませんでしたが、私も中学3年生になり、家庭学習をするようになってから、やっと父のしていたことの大きさに気が付きました。今の私には、とてもじゃないけど、勉

強一本で徹夜なんてできるものではないのですから。

会社…父の仕事は、まず家の中、次に車庫をどかして、そこに最初の会社が建ち、次に今の会社が家の隣りに建ち、去年は、隣りの市に支店まで建てました。そして、その最初に建てた会社は、今の私の部屋となっているのです。

こうして、年月が過ぎて会社が少しずつ、大きくなっていくに連れて、私と父の顔を合わせる回数が少なくなっていきました。夜、私の起きているうちに帰ってくるのが少なくなってきたからなのです。私には10歳はなれた弟がいますが、弟は生まれた時から父の顔を見るのが少なかったせいか、今でも案外、父が夕食の時にいなくても違和感は少なそうです。私はやっぱり、どこか変なような気がしてきます。

帰りが遅いのは、決まって仕事関係でお酒を飲まなくてはならなかったからです。自分が飲みたい時に飲むのと違って、本当に気を使うだろうし、飲みたくない日だってあるだろうと私は思っています。

でも、父はずっと特に病氣もせずに元気に毎日、仕事に熱心でした。

しかし、ほんのこの間、父が病院に定期検査に行き、入院しなくてはいけないことになってしまったのです。

私は、それを聞いた時、1人で勝手にいろいろ考えて悩んでいましたが、その日の夜、母に、父は今までの疲れが出ただけ、胃かいようだったから…と聞かされ、本当にほっとしました。自分でも、信じられない位に真剣に考えていたので、それを聞いた時は、ほっとすると同時に少しおかしかったです。

今、父は退院して、元気になりましたが、まだ、お酒は止められているので、最近では夕食の時ほとんど毎日、一家6人の顔がそろいます。不謹慎かもしれませんが、父がお酒を止められてから、みんな

の顔がそろったことになったのは、とてもうれしいものです。

父は、私が将来何になりたいか知っていますが、今でも遠まわしに「あとを継いでほしい。」というようなことを言います。私は、その度に深く考えて急いで結論を出そうとしますが、それはやめようと思います。何故なら長いか短いかは分かりませんが、成人するまで、あと5年の月日があるからです。その間に何回も自分がどっちに適しているのかを考えていこうと思うのです。

今は母も保母を辞めて会社で父と共に仕事をするようになり、会社が本当に家庭に近くなりました。

これからも、父と母に体をこわさないように元気ががんばって欲しいと私は思っています。

「私の家族」

小国中学校

3年 小林瑠美子

私の家では、小売業を営んでいます。父は会社員でもあるのでお店の仕事との両立は、なかなか大変そうです。お店の中の仕事は、主に母と祖母が担当しています。もう、80才を過ぎる祖父も車を運転し、お店の配達・仕入れなどの仕事を元気にやっています。

おもてに見える仕事はそういった仕事です。小さかった頃は私にもわかりませんでしたがそれらの他にもたくさんの仕事があります。まず、我が家で1番最初に起きるのは祖父です。毎朝、3時頃に起きる祖父はそれから伝票書きや、お店の帳面の整理などをするのでそうです。それから野菜などの市場に出かけ仕入れてきます。祖父はもう80才だと人にいえば必ずおどろかれるほどの元気者です。母は、朝、お店の品物を調べ必要な物を注文します。仕事はお店のことだけではないわけで、祖母は私たち家族の朝食をつくり、母は、兄のお弁当をつくり、家のそうじなどもやっています。父は、

